

平成26年 県政の軌跡

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III 新しい県政の運営方法の導入	2
IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	
1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり	3
2. 明るく元気な社会づくり	4
V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	
1. 少子化対策の充実	7
2. 福祉の充実	7
3. 健康わかやまの実現	7
VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山	
1. 商工業の振興	8
2. 農林水産業の振興	10
VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	
1. 観光の振興	14
2. 誇れる郷土づくり	16
3. 環境・自然の保全	16
VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	
1. 防災・減災社会の実現	17
2. 暮らしの安全・安心	18
IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	
1. 交通ネットワークの充実	19
2. 快適な暮らしの実現	19
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	20

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	1期目 (H18.12.19～ H22.11.30)	2期目			
		就任5年目 (H22.12.1～ H23.11.30)	就任6年目 (H23.12.1～ H24.11.30)	就任7年目 (H24.12.1～ H25.11.30)	就任8年目 (H25.12.1～ H26.11.30)
○県内から県庁を訪問 して下さったお客様	860 グループ	291 グループ (義援金44グループ)	216 グループ	145 グループ	159 グループ
○県外から県庁を訪問 して下さったお客様	469 グループ	93 グループ (義援金15グループ)	100 グループ	92 グループ	86 グループ
・国機関関係	101 グループ	26 グループ	31 グループ	22 グループ	21 グループ
・外国関係	52 グループ	17 グループ	17 グループ	9 グループ	17 グループ
○式典・大会出席挨拶	1170 回	266 回	370 回	360 回	359 回
○講演・シンポジウム	114 回	30 回	27 回	35 回	33 回
○県内各地への 出張回数	404 回	126 回	137 回	121 回	81 回
○県外各地への 出張回数	263 回	69 回	65 回	56 回	61 回
・東京	102 回	28 回	19 回	26 回	20 回
・大阪	95 回	24 回	27 回	22 回	27 回
・他府県 (東京、大阪除く)	62 回	17 回	19 回	8 回	14 回
・外国	6 回 (中国、スペイン、イタリア・ フランス、ブラジル・ペ ルー、トルコ、中国)	2 回 (中国・アメリカ)	2 回 (香港・シンガポー ル、デンマーク・スペ イン)	3 回 (タイ・オーストラリア、 香港、インド)	3 回 (ブラジル、アメリカ、 香港)
○公用車の 走行距離	96,110 Km	25,373 Km	27,000 Km	24,985 Km	26,882 Km
○県内各界要人 との懇談	118 回	28 回	19 回	19 回	17 回
○県内企業訪問	63 回	5 回	8 回	5 回	5 回
○国の要人との政策 議論・要望	173 項目 234 回	45 項目 89 回	43 項目 62 回	48 項目 73 回	39 項目 30 回
○企業首脳トップ セールス	158 回	38 回	34 回	42 回	46 回

Ⅱ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

○入札制度の見直し(4月)

1. 受発注者の負担軽減
 - ・電子入札の対象拡大
建設工事の一般競争入札において、電子入札の対象を拡大(発注基準額500万円未満の土木一式工事は除く)
 - ・議会の議決を要する工事における配置予定技術者の取扱い
予定価格5億円以上において、本契約後に技術者が配置できればよいものとし、企業の負担を軽減
2. 技術者不足対策
 - ・総合評価落札方式における現場代理人の評価
主任(監理)技術者としての工事实績がない場合、現場代理人としての工事成績評価を評価
 - ・主任技術者専任要件の緩和
工事現場相互の距離が10km程度以内の工事2件まで兼任を認める
 - ・フレックス工期の導入による配置予定技術者要件の緩和
工期に余裕がある工事に対し、受注者が一定期間内で工事開始日の選択を可能とする
3. 建設工事の更なる品質確保
 - ・総合評価落札方式の対象拡大【試行】
土木一式Bランク工事の2割程度に総合評価落札方式を試行(緊急性のある災害復旧、維持修繕工事等は除く)

Ⅲ 新しい県政の運営方法の導入

○知事が直接県民の皆様と意見交換する「和歌山県行政報告会」を開催 (平成26年実績:29回)

○「新行財政改革推進プラン(改定版)～持続可能な県政へ～」に基づく行財政改革の取り組み

- ・職員数の見直し ▲34人
- ・事務事業の一層の見直し ▲12.1億円

○組織改正(4月)

- ・紀の国わかやま国体・大会開催に向けた体制の強化
開催準備を進めるため、5課14班体制から5課2室17班体制に組織を拡充し、行幸啓室、県外競技運営室を設置
- ・介護・福祉の産業化による地域経済の好循環化を推進するための体制強化
多様化する福祉ニーズに対応し、有料老人ホームや家事代行等の高齢者向け生活支援サービスを提供する民間事業者の誘致を推進するため、企業立地課に福祉産業立地室を新設
- ・湯浅御坊道路4車線化推進のための体制強化
湯浅御坊道路の4車線化に必要な用地の早期取得のため、湯浅御坊高速事務所用地課に2グループを設置
- ・ジオパーク認定等推進のための体制強化
日本ジオパーク認定、さらには世界ジオパーク認定に向けた取組や県立自然博物館の機能強化のため、自然環境室に2班を新設

○人事異動(4月～)

- ・中央省庁等への派遣を推進 7省3庁に16名
- ・外国等への研修派遣を推進 4団体に8名
- ・近隣府県との交流を推進 京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、関西広域連合に7名
- ・民間等との交流を推進 6団体に6名
- ・県と県内市町村との人事交流を推進 9市町村等に19名
- ・大学院等への研修派遣を推進 6名
- ・災害復旧応援(岩手県)4名

IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり

○「国際人育成プロジェクト」の実施

- ・高校生による「英語ディベート大会」等の開催、児童生徒の海外留学支援制度の実施
- ・英語授業改善研究協議会による授業改善の推進

○学習到達度調査の実施(12月)

県内公立小学校4～6年、中学校1・2年と特別支援学校小学部4～6年、
中学部1・2年を対象に、個に応じた指導の充実と学習内容の定着のために国語、算数・数学で実施

○「親と子どものためのきらめき”夢”トーク」を開催(平成20年度～)

- | | |
|-----------------------------|------|
| 2月 林 伸昭((有)ハヤシ・シザース代表取締役社長) | 田辺市 |
| 9月 ウィンズ平坂(J-POPアーティスト) | 橋本市 |
| 9月 尾久土 正己(和歌山大学観光学部教授) | 和歌山市 |

○科学技術教育

- ・第2回きのくにジュニア科学オリンピックを開催(9月)
- ・第3回きのくに科学オリンピックを開催(11月)
- ・第8回きのくにロボットフェスティバル2014を開催(12月)

○いじめ問題対策

- ・いじめ等の相談窓口の拡大
「知事メール」「教育長POST」で受付 メールアドレスを、全児童・生徒、保護者へ通知
- ・いじめの実態把握(県立学校、市町村立学校、私立学校においてアンケートを実施)
- ・「和歌山県いじめ基本方針」の策定(3月)

○「若者サポートステーションWith You」開設(4月)

県内3か所で、無業の若者の職業的自立を支援してきた地域若者サポートステーションに、若者のあらゆる相談を受け付ける総合窓口を併設。狭義の就労支援にとどまらず、健康面や家庭面等をも含む包括的な支援を、地域の関係機関と連携・協力して実施。

○青少年自身がリーダーとなって地域の青少年を育成する循環システムを構築するための「リレー式次世代健全育成事業」を継続実施

2. 明るく元気な社会づくり

① 文化芸術の振興

○和歌山県名匠表彰40周年記念展

和歌山県名匠表彰受賞者の作品や道具、功績録パネルの展示会を開催(1月～2月)

② スポーツの振興

○紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会(平成27年)開催準備

- ・「きいちゃんステーション」オープン(2月)
「きいちゃん」グッズの販売や、国体・大会情報を発信するとともに県産品PRなどを行う魅力発信拠点として、「きいちゃんステーション」がオープン
- ・チーム和歌山応援団結成(2月)
和歌山県選手団「チーム和歌山」の紀の国わかやま国体における天皇杯獲得に向けて、県民みんなで応援するための組織「チーム和歌山応援団」を結成
 - ◇応援団長
 - ・岩出雅之氏(帝京大学ラグビー部監督)
 - ・ウインズ平阪氏(J-POPアーティスト)
 - ・田中理恵氏(元体操女子日本代表)
- ・紀の国わかやま大会選手団サポートボランティア養成協力校委嘱状を交付(3月)
紀の国わかやま大会に参加する選手と大会期間中行動を共にし、歓送迎・介助・誘導・交流等を行う「選手団サポートボランティア」の養成協力校として、県内の医療・福祉系の大学・短大・専修学校等14校に委嘱状を交付。
- ・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会各種ボランティアに対し、「おもてなし意識の向上」や「障害のある方とのコミュニケーションの取り方」などの基礎研修を開始(4月～)
※募集人数:運営ボランティア 約4,900人(延人数) 情報支援ボランティア 約600人
- ・県外で開催予定の4競技のうち3競技の現地事務所を開設
 - ◇水泳(飛込・シンクロ)競技 大阪府門真市(4月)
 - ◇ボート競技 滋賀県大津市(4月)
 - ◇クレール射撃競技 神奈川県伊勢原市(5月)※この他、兵庫県三木市で開催される馬術競技については、現地事務所開設済(平成25年11月)

- ・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会花いっぱい運動「花のリレー」(5月～)
農業高校の生徒等が育てた苗を小・中・高生や花づくり団体等が花を咲かせ、競技会場等を花で飾る、「花のリレー」事業や、個人で参加可能な「花のリレー(個人版)」を実施し、プランター14, 100基を栽培
※花のリレー 実施状況 372校・園 3機関 489団体・個人 30市町村
- ・紀の国わかやま国体競技別リハーサル大会を開催(5月～11月)
県内20市町村及び県外1市の会場で30競技のリハーサル大会を開催
- ・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会「平成26年度クリーンアップ運動」を実施(8月～)
「ゴミつない和歌山」で来県者をお迎えするため、県民総参加で清掃活動に取り組むことを目的として、県内一斉クリーンアップデー及び県内クリーンアップ運動統一実施期間を定め実施
◇県内一斉クリーンアップデー:8月23日(「紀州路クリーン大作戦'14」とタイアップ)
◇県内クリーンアップ運動統一実施期間:8月1日～9月30日
※今年度から実施の河川愛護会の共催実施も含め県全体で30, 000人以上が参加
- ・「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実施本部」を設置(9月)
紀の国わかやま国体及び紀の国わかやま大会並びにこれらに伴う行幸啓等の円滑な運営を行うため、県職員で構成する実施本部を設置
〈組織体制〉
本部長:知事、副本部長:副知事、統括部長:国体推進監
運営本部:9部28班/約2, 400人、行幸啓本部:9部24班/約600人
- ・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会公式ポスターのデザイン決定(9月)
- ・きいちゃんダンスコンテスト開催(11月～12月)
紀の国わかやま国体・大会のイメージソング「明日へと」ダンスverにに合わせて踊る「きいちゃんダンス」のコンテストを開催

開催日	開催場所
11月16日	橋本市民会館(橋本市)
11月22日	和歌山東公園体育館(和歌山市)
12月13日	田辺スポーツパーク体育館(田辺市)

- 和歌山県選手団結団壮行式(長崎国体・大会)・インターハイ「友情の花の種伝達式」を開催(9月)
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催1年前を機に、より一層の開催気運の醸成を図るため、長崎国体・大会に出場する和歌山県選手団の結団壮行式を開催。
インターハイ開催1年前でもあることから、大会の成功を願い、例年、開催地間で行われている「友情の花の種伝達式」も合わせて開催。

開催場所:和歌山県民文化会館
開催内容:県選手団の紹介・抱負やウインズ平阪氏・宮本恵梨菜氏を迎えての「明日へと」大合唱など
参加者数:約1,300人

- 第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」において、本県の成績は前年の18位から15位に上昇(10月)
第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体)成績
・男女総合成績(天皇杯)1, 063. 0点 第15位
・女子総合成績(皇后杯) 543. 5点 第19位

○和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

103名のゴールデンキッズを育成中

○県内22箇所でラジオ体操指導員養成講習会や体験会を開催し、1,578名が受講(内、ラジオ体操指導員養成講習会を受講した726名に修了証を交付)

○第13回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催

オープンチームを含め市町村合併以降、最多の45チームが出場。田辺市チームが2連覇を果たした。

○小中高の学校体育において体力向上を図るため、和歌山オリジナル「紀州っ子ががやきエクササイズ&ダンス」を開発し、その発表披露を実施(11月)

○ドーピング防止を指導するスポーツファーマシストの養成

新たに102名が基礎講習会を受講(6月)

本県の国体に出場する40競技団体全てに担当スポーツファーマシストを配置

③ 国際交流の推進

○和歌山県・山東省友好提携30周年記念事業

- ・李栄外事弁公室副主任を団長とする記念訪問団が来県(8月)

和歌山ビッグ愛で「山東省観光写真展・回顧展」を開催

- ・坂本議長を団長とする記念訪問団を派遣(10月)

山東師範大学内に「和歌山コーナー」設置、山東省博物館内で「和歌山県観光写真展・回顧展」を開催

○スペインとの青少年交流

- ・スペイン・ガリシア州へ本県から青少年交流訪問団を派遣(3月)

- ・スペイン・ガリシア州青少年交流訪問団の和歌山県訪問(7月)

○在伯和歌山県人会連合会創立60周年記念事業(4月)

仁坂知事、山田県議会議長、他72名が在ブラジル和歌山県人会連合会創立60周年記念式典に出席、南マットグロッソ州ドラードス(松原入植地)を訪問

○日・西交流400周年・熊野古道世界遺産登録10周年記念

和歌山県文化交流団のスペイン訪問(5月)

日本・スペイン交流400周年、熊野古道世界遺産登録10周年を記念し、下副知事、高野山・熊野三山関係者らによる和歌山県文化交流団がガリシア州及び首都マドリッドを訪問し、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂などで和歌山文化パフォーマンスを実施

5月31日から、ガリシア州の州首相として初めてフェイホー州首相が来県し、仁坂知事との会談や熊野三山の視察を行った

○ブルネイ王国との交流

- ・県内の青少年を派遣し、現地の青少年と交流(8月)

- ・ブルネイの青少年が来日し、学生等と交流(12月)

④ 人権尊重社会の実現

○「職場と人権～人権を尊重する職場づくりのために～」シンポジウムの開催(1月)

○「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結 7団体 計288団体

○人権スポーツ教室の開催(8月)

プロバスケットチーム和歌山トライアンズと連携協力し、子どもたちと選手がスポーツを通じてふれあい、人権についてのメッセージを発信することで、子どもたちに人権意識をもってもらおう。

V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

1. 少子化対策の充実

- 紀州3人っこ施策
- 婚活イベント等による男女の出会いの機会を拡大

- 「わかやま結婚サポーター」募集開始(6月)
少子化の要因のひとつである未婚化、晩婚化に対応するため、ボランティアで独身男女への結婚を応援していただく方を募集

2. 福祉の充実

- 児童虐待防止対策の強化
 - ・ 親支援プログラムの拡充等
- 子どもの虐待防止推進全国フォーラムinわかやまの開催(11月)

- 老後の安心をもたらす介護・高齢者福祉の充実について、「見守り」「健康」「安心」「産業化」の基本的方針で推進

- 高齢者等の見守り協力に係る協定を締結
 - ・ 関西電力(株)和歌山支店、JAグループ和歌山(県内全JA)、(社)日本新聞販売協会和歌山市支部・紀北支部・紀南支部、日本郵便(株)(県内全郵便局)、和歌山ヤクルト販売(株)と協定を締結

 - ・ 佐川急便(株)西日本支社、西濃運輸(株)和歌山支店、ヤマト運輸(株)和歌山主管支店と協定を締結

- 要介護者及び家族介護者の安心を確保するため、地域における緊密な医療と介護のネットワークづくりを支援
- 元気高齢者の活躍の場づくり
- 発達障害支援者(ペアレントメンター)の養成など相談体制の充実
- セーフティーネット機能の充実
 - ・ 生活保護受給者にボランティア活動の場を提供

3. 健康わかやまの実現

- ① 医療提供体制に充実
 - 和歌山県立医科大学附属病院東棟竣工(3月)
高度で先進的ながん治療を中心とした診療設備の充実と、県内医療機関に従事する医療人を育成する機能を整えた附属病院東棟を整備

 - 地域医療支援センター(県立医科大学に設置)における支援
若手医師のキャリア形成支援等

 - 日高看護専門学校開校(4月)

- ② 健康づくりの推進
 - 健康推進員制度の創設(6月)

 - 妊娠を希望する女性及び妊婦の夫への風しんワクチン接種助成を実施
 - ・ 県内全市町村でワクチン接種助成制度が行われている

 - がん対策の総合的な推進
 - ・ 市町村の検診案内の個別通知による受診勧奨について市町村を支援
 - ・ 胃がんのピロリ菌検査実施について市町村を支援
 - ・ 肺がんの低線量CT検査実施について市町村を支援

 - がん先進医療支援事業の創設(10月)
がん対策充実のための寄附金を活用して、公的保険医療の適用がないため治療費が高額となる先進医療を受けるがん患者を支援

 - 口腔保健支援センターの設置(10月)

VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

1. 商工業の振興

○企業立地の促進

- ・平成26年1月以降新たに10社の企業立地が決定(詳細別紙)

○企画・提案型のビジネスモデルを目指す産地企業の取り組みを、企画段階から販売促進まで3年間一貫して支援する「わかやま地場産業ブランド力強化支援事業」を実施

- ・平成26年 採択 6企業、3グループ

○先端的な技術開発・実用化への支援を行う「先駆的産業技術研究開発支援事業」を実施

- ・採択実績:平成24年度 7社(1.1億円)→平成25年度 10社(1.8億円)

○「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2014」を策定(4月)

○首都圏での販路開拓を行う県内中小企業を支援するため、活動拠点となる「わかやまビジネスサポートセンター」を展開

- ・6社入居

○和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の推進

- ・第6回プレミア和歌山推奨品及び審査委員特別賞を決定(2月)
- ・プレミア和歌山の認知度向上に向け、メディアをはじめ、情報発信力のある方を対象に、認定された食材の料理を試食する等イベントを開催(10月)
場所:ホテル椿山荘東京(東京都)

○見本市等に出展

- ・エレクトロニクス機器に関連する製造技術・実装技術の見本市「第42回インターネブコン・ジャパン」に集団出展(1月)
- ・アジア最大の日用品見本市「香港・ハウスウェア・フェア」に集団出展(4月)
- ・ねじ・ばねなどの機械要素や金属樹脂に関する加工技術の専門技術展「第18回機械要素技術展」に集団出展(6月)
- ・国内最大のパーソナルギフトと生活雑貨の見本市「第77回東京国際ギフトショー秋2014」に集団出展(9月)
- ・国内最大の皮革関係見本市である「東京レザーフェア」に集団出展(6月、11月)
- ・アジア最大級の皮革見本市「オールチャイナレザーエキシビション」(上海)に集団出展(9月)
- ・国内外からの家具・デザイン・インテリア製品が一堂に会する国際見本市「IFFT/インテリアライフスタイルリビング 2014」への集団出展(11月)

○商談会等の開催・実施

- ・川崎重工業株式会社 精密機械カンパニーと県内企業との個別面談会を開催(9月)
- ・ブラジルビジネスミッションの実施(4月)
- ・トルコビジネスミッションの実施(8月)

○アメリカ・ニューヨークにおいて開催された日本政府の対日投資セミナーに知事が参加(9月)

○香港貿易発展局とMOUの締結にもとづく活動

- ・香港ビジネスミッションの実施(9月)

○台湾(台日産業連携推進オフィス)とMOUの締結にもとづく活動

- ・台湾ビジネスミッションの実施(7月)

○インド・マハラシュトラ州とMOUの締結にもとづく活動

- ・マハラシュトラ州政府へ県職員を派遣(9月)

○工業高校における産業を支える人づくり

- ・産業を支える人づくりのため、県内5工業高校(和歌山工業高校、紀北工業高校、箕島高校、紀央館高校、田辺工業高校)において企業と連携したさまざまな人材育成の取組を実施

○中小企業向け融資制度の見直しを行い、中小企業者の資金繰りを支援

- ・「新規開業資金(創業枠)」を拡充
「資金繰り安定資金(再生枠)」を見直し、別枠保証による新たな資金「資金繰り安定資金(再生計画枠)」を創設
「成長サポート資金(認定・認証枠)」を拡充し、新たに「成長サポート資金(チャレンジ応援枠)」を創設

○第2期わかやま塾の開講

- ・将来、和歌山県を支え、世界にはばたく人材を育成することを目的に、50歳未満の県内企業の経営者、幹部、後継者等を対象にした「わかやま塾」を開講 塾生:100名

○一日中小企業庁inわかやまの開催(10月)

中小企業庁幹部が和歌山を訪問し、地元中小・小規模企業や関係機関に最新の施策を説明するとともに、「国・県の支援策の活用」をテーマとした意見交換や、講演会などを開催。

○「緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業」を実施

平成26年度事業計画(11月末現在)

緊急雇用

県	43事業	1,052百万円	雇用数	329人	支援事業所数	139社
市町村	12事業	53百万円	雇用数	26人	支援事業所数	12社
計	55事業	1,105百万円	雇用数	355人	支援事業所数	151社

2. 農林水産業の振興

① 農業・水産業

- 「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2014」を策定(4月)

- 県産品のトップセールスを実施
 - ・ ブラジル(4月)
 - ・ 香港(9月)
 - ・ 梅(東京・大田市場)(6月)

- 商談会を開催
 - ・ わかやま産品商談会in大阪を開催し、515人(過去最高の来場者数)のバイヤーが来場(2月)
 - ・ 「ジェットロ食品輸出商談会in和歌山」の開催(8月)
 - ・ ブラジルで商談会を開催(4月)

- 国内見本市等に出展
 - ・ 「ふるさと祭り東京2014」に出展し、首都圏の消費者に和歌山のふるさとの味を販売(1月)
 - ・ 「スーパーマーケット・トレードショー2014」に出展、県内18業者が参加(2月)
 - ・ 「FOODEX JAPAN 2014」に出展、県内21業者が参加(3月)
 - ・ 「エコプロダクツ2014」に出展

- 百貨店等で和歌山フェア開催
 - ・ 藤崎百貨店(宮城)(1月)
 - ・ 山形屋百貨店(鹿児島)(2月)
 - ・ トキハ百貨店(大分)(3月)
 - ・ 新宿タカシマヤ(東京)(4月)
 - ・ 日本橋三越(東京)(6月)
 - ・ アトレ川崎(神奈川)(6月、10月)
 - ・ 京阪フレスト松井山手店(京都)(6月、11月)
 - ・ スーパーアピタ名古屋空港店(愛知)(6月)
 - ・ 阪急百貨店(大阪)(7月、10月)
 - ・ くるるの杜(北海道)(10月)
 - ・ 新潟三越(新潟)(10月)
 - ・ スーパーアピタ鳴海店(愛知)(11月)
 - ・ スーパーアピタ亀田店・新潟西店(新潟)(11月)

- 国際食品見本市等に出展
 - ・ 「FOODEX JAPAN 2014」に出展、県内21業者が参加(3月)*再掲
 - ・ 「香港フードエキスポ2014」に出展、県内から5社が参加(8月)

- 海外百貨店等で和歌山フェア開催
 - ・ 台湾(1月、6月)
 - ・ シンガポール(7月、11月)

○海外量販店等でのプロモーション実施

- ・シンガポール、台湾、マレーシア

○香港貿易発展局とMOUの締結にもとづく活動 ※再掲

- ・香港ビジネスミッションの実施(9月)

○食品メーカー等との協働

- ・亀田製菓(株)の「亀田の柿の種の婚活」プロジェクトで和歌山県代表の「ぶどう山椒」が一位となり商品化・発売(2月)
- ・(株)ニチレイフーズから梅を使った「紀州梅とじゃこのピラフ」が発売(3月)
- ・和歌山トライアンズが「おいしい！健康わかやま産品応援隊(フルーツ・バスケット部隊)」に就任(4月)
- ・バリラジャパン(株)とコラボした料理講習会開催(5月)
阪急オアシス南千里店で和歌山県食材によるイタリア料理講習会を開催
- ・ツヴィリングJ.Aヘンケルスジャパン(株)とコラボした料理教室開催(6月)
COOK COOP BOOK キッチンスタジオで梅の料理教室を開催
- ・横浜ベイホテル東急にてディナーbuffetを和歌山県食材で開催(6月)
横浜ベイホテル東急2階カフェスカで和歌山県食材による「ナイト・キッチンスタジアム こだわり食材 和歌山」を開催
- ・大阪市中央卸売市場において和歌山県産の桃を市場関係者等にPR(7月)
- ・カゴメ(株)から南高梅果汁を使用した「野菜生活100紀州うめミックス」が発売(7月)
- ・成田エクセル東急にて「日本の旬！旨いもん探し！」和歌山県フェアを開催(7月)
- ・日本ルナ(株)から有田みかん果汁を使用した「パニラヨーグルト 有田みかん」が発売(9月)
- ・ツヴィリングJ.Aヘンケルスジャパン(株)とのコラボ「ツヴィリング読本」にて和歌山食材の紹介を掲載(10月)
- ・名古屋マリオットアソシアホテルにて「シェフのこだわり食材紀行～和歌山編～」開催(10月)
- ・「ココ、カラ。和歌山」の首都圏イベントの一環として、県産農産物機能性PRパーティーを開催(10月)
東京・池袋のWACCA ILEBUKURO内のキッチンスタジオLupeで、県産農産物を使ったスイーツレシピの実演、ファッション雑誌DRESSの購読者等を対象にしたトークショーで、おいしい！健康わかやまの魅力情報を発信
- ・名古屋栄東急イン内のレストラン「ひしや」にて和歌山県食材を使った和歌山県フェアを開催(10月)
- ・(株)ドンクが運営する「ミニワン」において、和歌山県産いちじくジャムを使った「ぎゅっと！和歌山いちじく」フェアを開催(11月)
- ・ツヴィリングJ.Aヘンケルスジャパン(株)とコラボした料理教室開催(10月、11月)
- ・グランフロント大阪にてメニューイン等和歌山の食イベント開催(11月)
- ・和歌山県産農産物消費宣伝「ココ・カラ。わかやまキャンペーン」開催(11月)
首都圏のJR有楽町駅前広場を中心に、一般消費者の方々に「和歌山県産」「和歌山ブランド」の認知度や好感度アップに繋がるイベントや隣接商業ビル内での県産農産物等を使ったメニューによるレストランフェアなどを集中的に実施。

○航空会社との連携

○わかやま農産物安心プラス事業を推進

平成26年度認証 13団体、29品目(果樹11、野菜17、米1)

○施設園芸農家の省エネ対策

- ・施設園芸農家が、燃油価格高騰の影響を受けにくい生産構造を構築するため、省エネルギー機械・設備の導入に対し、25・26年度に限り緊急的に補助率を引き上げ(1/3→1/2)で支援を強化

- 学校給食等への県産農水産物5品目(みかん、かき、うめ、もも、魚)の提供
- 「ウメ輪紋ウイルス」の感染確認、対策実施(平成26年4月～平成27年2月)
- 有害鳥獣対策
 - ・ 県が実施するニホンジカの個体数調整を行う管理捕獲(4月～5月)
 - ・ 県が実施するニホンザルの個体数調整を行う管理捕獲(通年) 捕獲目標 600頭
- わかやまジビエ認証制度の開始(4月)
 - ・ わかやまジビエの流通拡大を図るため、県が処理施設の衛生管理の遵守状況を基に認証する「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証制度」と肉の品質基準に基づき格付けを行う「わかやまジビエ肉質等級制度」(全国初)からなるわかやまジビエ認証制度を開始
 認証施設 県内4処理施設(認定日4/9)
 認定格付員 18名(認定日3/19)
- ムクドリ捕獲対策
 - ムクドリの被害を軽減するための抜本的な対策として、銃器、箱わななどを活用して捕獲を実施。
 - ・実施期間 平成26年4月～平成27年3月
 - ・捕獲場所 和歌山市
 - ・捕獲委託先 県猟友会和歌山支部
- 企業のふるさと
 - 企業と農村地域が協働し、農産物作り等を通じて農地の保全や農村の活性化を図る取り組みを実施。
 - ・「伊藤忠商事株式会社」(かつらぎ町天野地区):
 手植えにより田植え体験や世界遺産エリアでの清掃活動を実施(5月)
 稲刈り体験や竹のチップ化による再利用作業を実施(10月)
 - ・「関西電力労働組合和歌山地区本部」(田辺市本宮町発心門地区):
 手植えによる田植え体験(5月)
 稲刈り・ナル掛けによる天日乾燥体験(9月)
 - ・「井関農機株式会社」(橋本市西畑地区):
 井関農機の機械力を駆使し畑ごんぼの栽培ほ場準備と播種作業を実施(4月)
 収穫専用機械を使用した省力・軽労な畑ごんぼの収穫作業を実施(12月)
- 和歌山平野農地防災事業所開所式及び国営総合農地防災事業和歌山平野地区の着手を祝う式典を開催(10月)
- 水産資源を大切にす月間(5月、10月)
- ② 林業
 - 「わかやま森林と樹木の日」記念行事を開催(5月)
 - 大消費地への販売促進
 - ・ 建築関連展示会「ナイス住まいの耐震博覧会」に出展(8月)
 - ・ 紀州材・家づくりフェアをイオンモールりんくう泉南(2月、9月)、イオンモール和歌山(11月)で開催
 - ・ 優良紀州材展を東京中央木材市場で開催(3月)
 - ・ 福岡県で紀州材まつりを開催(5月)
 - ・ 首都圏における紀州材の販路拡大のため、大紀州材展を開催(10月)
 - 日本最大級の環境展「エコプロダクツ 2014」に「企業の森」を出展(12月)

○「企業の森」

- ・「大阪ガスの森」(大阪ガス株式会社)森林保全活動(3月、7月)
- ・「積水ハウスの森」(積水ハウス株式会社)森林保全活動(4月、10月)
- ・「パナソニック・田辺龍神の「ながきの森」」(パナソニック株式会社)森林保全活動(4月、10月)
- ・「10年 あゆみの森」(南海スチール株式会社)森林保全活動(4月)
- ・「セイカの森」(セイカグループ)森林保全活動(5月)
- ・「積水化学の森」(積水化学工業株式会社)の森林保全活動(5月、11月)
- ・「つなぎの森」(NEXCO西日本グループ)森林保全活動(5月、11月)
- ・「パンジーまごころの森」(株式会社パンジー)森林保全活動(5月)
- ・「紀陽の森」(紀陽銀行・紀陽銀行従業員組合)森林保全活動(5月)
- ・「JTの森 中辺路」(日本たばこ産業株式会社)森林保全活動(6月、11月)
- ・「ダイキン工業労働組合の森」(ダイキン工業労働組合)森林保全活動(6月)
- ・「新日鐵住金和歌山の森」(新日鐵住金(株)和歌山製鉄所)森林保全活動(7月)
- ・「JA共済 絆の森」(JA共済連和歌山)森林保全活動(7月)
- ・「ユニチカの森」(ユニチカ労働組合)森林保全活動(9月)
- ・「住友信託銀行”しんたくの森”」(三井住友信託銀行株式会社)森林保全活動(9月)
- ・「トーマツの森」龍神村(有限責任監査法人トーマツ)森林保全活動(9月)
- ・「富士通グループ・紀州龍神せせらぎの森」(富士通株式会社)森林保全活動(10月)
- ・「東洋紡みらいの森」(東洋紡株式会社)森林保全活動(10月)
- ・「やすらぎの森」(和歌山県オールトヨタ)森林保全活動(10月)

VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

1. 観光の振興

- 「和歌山県観光振興アクションプログラム2014」を策定(4月)
- 「和歌山おもてなしトイレ大作戦」の実施
 - ・「紀の国わかやま国体・わかやま大会」までの2年間で、県内の公共施設(約580箇所)や民間施設のトイレを重点整備
 - ・洋式トイレを導入し、温水洗浄便座を設置
 - ・男性用小便器の自動洗浄化
 - ・オストメイト用設備の設置推進
- 「わかやまおもてなし宣言」の取り組みを推進
 - ・県のおもてなし力を向上させ、リピーター化を促進するため、観光局と国体推進局が連携し、県民総参加で各自のおもてなしを宣言して実践する「わかやまおもてなし宣言」の取り組みを推進
登録件数:約1,542件、登録人数:約66,900人(12月末現在)
- 「和歌山おもてなしタクシー」の出発式の開催
 - ・平成25年度からタクシードライバーのおもてなし力向上を図ることを目的とした「和歌山おもてなしタクシー大作戦」を展開しており、これまで県内全てのタクシー事業者及びタクシードライバーを対象とした接客・接遇の講習会を実施。
夏の行楽シーズンを迎えるとともに、「和歌山ディステーションキャンペーン」も始まり、本県への観光客が増加するこの機会に、「和歌山おもてなしタクシー」を広くPRするため、出発式を7月30日に開催。
- 国内の誘客を図る取組
 - ・首都圏で「いよいよ和歌山に行ってみようキャンペーン」を実施(9月)
 - ・10万人の参詣道環境保全活動環境保全トレッキングの実施(3月、7月、10月)
 - ・東海プロモーションの実施(3月)
 - ・修学旅行・教育旅行の誘致をより一層推進するため「2014体験・学び・感動の修学旅行セミナー」を開催 東京(2月)
修学旅行誘致実績 平成26年 12府県から55校、6,819人
 - ・信用金庫業界の「年金旅行」の誘致
和歌山県とぎのくに信用金庫・新宮信用金庫とが締結した連携協定に基づき、信用金庫業界の年金旅行を和歌山県内へ誘致
平成26年 3信用金庫 計818人
 - ・夏プロモーションの実施
(6月、7月 旅行会社226店舗訪問 新聞27紙・フリーペーパー3誌掲載 パンフレット25,700部配布)
 - ・和歌山ディステーションキャンペーンの開催
県及び市町村、観光関係団体とJRグループ6社が連携し、期間中は県内各地でさまざまな特別企画やイベントを実施するとともに、心こもった「おもてなし」で全国のお客様をお迎えする。より一層「和歌山ファン」を増やし、将来にわたり『持続可能な観光地』を目指していく。
[期間]平成26年9月14日から12月13日
[テーマ]和(なごみ)
[キャッチフレーズ]和み、和らぐ。和歌山からはじまる旅。
[内容]
 - ・宣伝・広告
テレビ、新聞・雑誌、新聞広告、パンフレット、5連貼りポスター、中吊りポスター、ウェブサイト
 - ・DC特別プロモーションの実施
(9月～11月 大都市圏の主要17駅)
 - ・オープニングイベント、オープニングコンサート(白浜町 9月14日 セレモニー400人 コンサート1,000人)
 - ・1万人のウォーク&トレッキング
熊野古道や高野山町石道、まちあるきなど、期間中の毎週土日・祝日を中心に県内各地で実施。

- ・世界遺産「高野・熊野」コンサート
 (9月 高野山 約600人、10月 熊野本宮大社 約700人、10月 熊野那智大社 約250人、
 11月 熊野速玉大社 約800人)
- ・和みわかやま・まるごとスタンプラリー
- ・わかやまご当地キャラぼん
 和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぼん」をはじめ、ご当地キャラクター
 (25種類)がカプセルトイの「ピンバッジ」になって登場。
- ・和み わかやま駅弁 & 宿ごはん
 有名フードスタイリスト飯島奈美さん考案(駅弁2種類、宿ごはん11宿泊施設)
- ・特別公開・ライトアップ
 期間中は減多にお目にかかれぬ秘宝等の特別公開や、景勝地でのライトアップを実施。
- ・特別列車(トワイライトエクスプレス車両(団体用臨時列車)での運行)
- ・ハローキティ 和歌山号
 「ハローキティ」が和歌山を楽しく紹介する、ラッピング列車を新宮駅〜串本駅間で運行。
- ・紀の国トレイナート2014
 県内外のアーティストと協働で、紀南エリアの無人のJR駅舎(20駅)を装飾。期間中、アートを楽しめる。
 また、臨時列車『紀の国トレイナート号』で駅舎アートを巡るイベントを実施。
- ・産業とのコラボレーション(お誂え&工場見学など)
 ホールガーメント、紀州漆器、梅干、醤油、備長炭など
- ・荷物を預けて、手ぶらでらくらく観光(手ぶら観光)
 和歌山駅、紀伊田辺駅、新宮駅、紀伊勝浦駅、串本駅(白浜駅は以前から実施済み)

- ・「和みわかやま宿泊得々キャンペーン」(9月〜3月)を展開
- ・冬期の誘客を目的に、冬こそ和歌山「ぽかぽか和歌山キャンペーン」を実施
 (12月1日〜3月31日)
- ・「フェリーでらくらく！魅惑の和歌山・高野山行っ得キャンペーン」を展開(4月〜3月)
- ・「海の遍路道」高野山周遊スタンプラリーの実施(11月〜3月)を展開

- ・高野山開創1200年関係
 (9月〜高野山ガイドブック5万部作成・女人高野スタンプラリー開始、12月〜専用ウェブサイト開設)
- ・三県(奈良・三重)連携による世界遺産を活用した誘客対策(通年)

○世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年関係

- ・世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』登録10周年記念フォーラム in TOKYOの開催(7月)
- ・世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』登録10周年記念祭の開催(7月)
- ・世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』登録10周年記念フォーラム in NAGOYAの実施(7月)
- ・世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』登録10周年記念シンポジウムの開催(8月)
- ・全国世界遺産観光地サミットの開催(高野町、9月)

○参詣道環境保全活動環境保全トレッキング(9月・10月・11月・12月)

○誘客を目的とした企業CSR活動による環境保全活動誘致のため、企業訪問(通年)・環境展「エコプロダクツ2014」に出展(12月)

○外国人旅行者向け消費税免税制度が改正。

外国人旅行者の呼び込みに向け、県内72店舗が免税店に！

○海外からの誘客を図る取組

- ・現地プロモーション
 韓国(2月、3月、5月、8月、10月)、中国(6月)、
 マレーシア・タイ・シンガポール・インドネシア・フィリピン他(1月、2月、7月、8月、9月、10月、
 11月、12月)
 フランス(3月、11月)、
 台湾(6月、9月、10月)、香港(7月、9月)、
 オーストラリア(9月)

2. 誇れる郷土づくり

○暮らしやすくにぎわいあふれる都市づくり

- ・商店街のコミュニティ機能強化支援事業実施 計10事業(12月末現在)

○愛着の持てる元気な農山漁村づくり

- ・「わがまち元気プロジェクト」を展開 3プロジェクト

- ◇・紀の川市フルーツ・ツーリズムの展開によるファン獲得プロジェクト(紀の川市 平成26～28年度)
※下記2プロジェクトも継続事業として実施

- ◇”有田川あらぎ島の景観保存と地域おこし”プロジェクト(有田川町)(平成24～26年度)

- ◇上富田町スポーツ振興ステップアッププロジェクト(上富田町)
スポーツを核としたわがまち元気プロジェクト第1弾(平成25～27年度)

- ・わかやま版「過疎集落支援総合対策」を推進
＜過疎対策が進められている生活圏＞

- ◇シタケを核とした産業振興で未来につなぐ集落づくり(寒川:日高川町)(平成23～25年度)

- ◇三川元気夢来プロジェクトで集落元気(三川:田辺市)(平成23～25年度)

- ◇芸術を核とした住民主役の集落づくり(真国:紀美野町)(平成23～25年度)

- ◇”露苗”の産地化で始まる新たな集落づくり(清川:みなべ町)(平成23～25年度)

- ◇交流(ヒト・モノ)から始まる元気集落づくり(佐本・大都河:すさみ町)(平成23～25年度)

- ◇棚田を活用した元気な集落づくり(西八幡:有田川町)(平成24～26年度)

- ◇畑わさびと保田紙で地域再生への挑戦(安諦:有田川町)(平成24～26年度)

- ◇川添「お茶と農園・レストラン」で地域に活力(川添:白浜町)(平成24～26年度)

- ◇”色川茶”で繋ぐ移住・交流の拠点集落づくり(色川:那智勝浦町)(平成24～26年度)

- ◇交流人口の増加で『日本一の串柿の里』に活力を(四郷:かつらぎ町)(平成25～27年度)

- ◇高野街道にぎわい創出と伝統文化の復興(花坂・細川:高野町)(平成25～27年度)

- ◇人財を活用して元気な集落再発見(中山路:田辺市)(平成25～27年度)

- ◇地域内資源を活用した安心・元気な集落づくり(長谷毛原:紀美野町)(平成26～28年度)

- ・「わかやま田舎暮らしフェア」の開催(大阪、6月)
- ・現役世代の移住受け入れ促進のための起業補助制度を実施(採択:5件)
- ・「ふるさと回帰フェア」に出展(東京、9月・大阪、10月)
- ・読売新聞「わいず倶楽部」との共催によりわかやま田舎暮らし現地体験会開催(9月)

○大学のふるさと

- ・湯浅町・羽衣国際大学 協定調印(9月)
- ・由良町・摂南大学
すさみ町・摂南大学 協定調印(10月)

○半島振興法の延長・充実

- ・半島振興法延長・充実実現決起大会を開催(東京都内:7月)
- ・半島振興法の延長・充実に向け、国への提案活動を実施(11月)

3. 環境・自然の保全

○わかやま節電アクションプランを策定(夏期:6月、冬期:11月)・節電PRを実施(夏期:7月～10月、冬期:12月～3月)

○エコナビわかやま(和歌山県環境学習・環境保全活動の手引き)を策定(6月)

○日本ジオパーク認定(8月)

- ・日本ジオパーク委員会において、「南紀熊野」地域は、審査の結果、熊野の優れた自然や文化、ジオパークの活用に向けた地域住民や50名以上のジオパークガイドが評価され、日本ジオパークに認定された。

○微小粒子状物質(PM2.5)や光化学オキシダントなどの大気汚染情報をよりわかりやすく提供することが可能となる、新たな大気常時監視システムの運用を開始(12月)

VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

1. 防災・減災社会の実現

- 和歌山県災害対策本部総統制室運営図上訓練の実施(1月)
 - ・災害対策本部総統制室の運営方法の検証、職員の災害対応能力の向上を目的とした訓練を実施
- 孤立集落通信訓練の実施(1月)
 - ・通信訓練により防災行政無線等の動作確認や操作方法の習熟を図り、大規模災害時における孤立集落との情報伝達の訓練を実施
- 第6回和歌山県地震・津波被害想定検討委員会の開催(1月)
- 物資輸送・災害情報収集伝達訓練の実施(2月)
 - ・南海トラフ地震などの大規模災害時における救援物資の輸送等について、広域防災拠点の開設訓練を実施し、関係機関との連携強化を図る
- 県民を対象に地域で実践する「自助」と「共助」をテーマに和歌山県防災啓発研修を実施
 - ・2月に海南市、9月に有田市で実施
- 津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム策定専門家会議
(第3回:2月 第4回:9月)
- 住宅耐震化促進事業を拡充し、非木造・現地建替を補助事業に追加(4月)
- 災害廃棄物処理支援要員、住家被害認定士リーダー制度の創設(5月)
 - ・災害時緊急機動支援隊に加え、新たに災害廃棄物処理と住家被害認定に関する支援体制を創設し、更なる被災市町村の支援体制の充実・強化を図る
- 避難所運営リーダー養成講座を開始(6月)
- 大規模土砂災害対策研究機構の設立シンポジウムの開催(7月)
 - ・土砂災害に関する高度な知見を有する大学や研究機関との連携を図り、研究を推進することを目的に、国・県・町と大学・研究機関からなる組織を設立し、本格的な活動を開始
- 家具固定施工事業者登録制度の創設(8月)
 - ・家具を自分で取り付けることが困難な方や、有料でも専門事業者に依頼したい方でも家具を固定できるよう家具固定施工事業者を登録し、防災啓発事業「出張! 減災教室」や県ホームページで事業者を紹介
- 津波災害対応実践訓練を緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練と併せて実施(10月)
 - ・南海トラフ地震などの大規模災害に備え、災害対応力の強化を図るため、迅速な初動対応とともに多くの防災関係機関と連携した救助活動などの実践的な訓練を実施。特に緊急消防援助隊との合同訓練や、防衛省(陸上・海上・航空自衛隊)が全面協力し、在日米軍も参加する大規模な訓練を実施
- 応急仮設橋設置訓練(10月)
近畿地方整備局、陸上自衛隊、県、串本地区土木共同組合、紀南地方建設業協会が連携して実施
- 和歌山県の津波避難困難地域と津波対策の公表(10月)
 - ・「東海・東南海・南海3連動地震」及び「南海トラフ巨大地震」の津波浸水想定を基に、津波避難困難地域を抽出するとともに、津波避難困難地域を解消し、津波から住民の命を救い、死者をゼロとするための津波対策として「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」を公表

- 「津波防災の日(11月5日)」の記念行事として津波防災講演会を開催(11月)
- 和歌山県津波避難訓練の実施(11月)
 - ・ 4県(三重県、和歌山県、徳島県、高知県)共同の訓練として、11月1日に県内一斉に沿岸市町で実施(別日程で実施する市町もあり)
また、11月5日の津波防災の日には、内閣府が実施する地震・津波防災訓練に広川町が参加
- 市町村長を対象とした「和歌山県市町村長防災危機管理ラボ」を開催(11月)
- 大規模津波防災総合訓練の実施(11月)
 - ・ 地震・津波による災害に対応するため、和歌山下津港西浜地区、北港地区等において国土交通省、和歌山市等と共催による大規模な訓練を実施
- 和歌山県石油コンビナート等総合防災訓練(11月)
 - ・ 和歌山下津港北港地区で南海トラフ地震・津波を想定し、ヘリテレ映像伝達訓練や屋外タンク消火訓練等を実施
- 救援物資情報伝達訓練の実施(12月)
 - ・ 災害時における救援物資に関する一連の手順を確認するため市町村、関係機関や協定企業と連携し、県が整備する救援物資管理システム等を活用した図上訓練形式の情報伝達訓練を実施
- 「わかやま防災カパワーアップ補助金」により、避難路の整備等を市町村が推進
- 各種団体と防災に関する協定を締結
 - ・ 大規模災害の発生等により死者が多数発生した場合に備え、全国霊柩自動車協会、全日本葬祭業協同組合連合会及びきのくに葬祭事業協同組合、全日本冠婚葬祭互助協会と協定を締結(1月)
 - ・ 災害救助物資の調達に関して、(株)ココカラファインヘルスケアと協定を締結(1月)
 - ・ 災害救助物資の調達に関して、イオンリテール(株)近畿・北陸カンパニーと協定を締結(3月)
 - ・ 地域防災力を高めるための事業(啓発事業等)に取り組むことに関して、日本ボーイスカウト和歌山連盟と協定を締結(5月)
 - ・ 災害救助物資の調達に関して、(株)廣岡と協定を締結(8月)
 - ・ 県有施設の機能復旧対策業務に関して、和歌山県塗装工業協同組合と協定を締結(8月)
 - ・ 大規模災害発生時の帰宅困難者に対する支援や避難所における公衆衛生の確保に関して、和歌山県生活衛生団体協議会及び(公財)和歌山県生活衛生営業指導センターと協定を締結(9月)
 - ・ 災害時のレンタル資機材に関して、(株)キナンと協定を締結(12月)
 - ・ 大規模災害発生時に実施する住家の被害認定調査に関して、(一社)和歌山県建築士会、(一社)和歌山県建築士事務所協会及び(公社)日本建築家協会と協定を締結(12月)

2. 暮らしの安全・安心

- 危険ドラッグ対策
 - 「和歌山県薬物の濫用防止に関する条例」による危険ドラッグに対する規制を強化するとともに、青少年による乱用を防止するため、りら創造芸術高等専修学校と協働で演劇を作成し、県内7カ所の中学校などで公演を実施(10月、11月)
- 性暴力救援センター和歌山「わかやまmine(マイン)」開設1周年記念シンポジウムを開催(12月)

Ⅹ にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

1. 交通ネットワークの充実

○道路網の整備

- ・ 一般国道425号(切目川バイパス)供用開始(1月)
- ・ 一般国道42号田鶴交差点の追加車線完成(2月)
- ・ 都市計画道路 西脇山口線(園部・六十谷工区)部分供用開始(2月)
- ・ 一般国道42号田辺西バイパス部分供用開始(3月)
- ・ 一般国道168号(日足道路)供用開始(3月)
- ・ 京奈和自動車道 紀北東道路全線供用開始(3月)
- ・ 一般県道 日高港線(西川大橋)供用開始(3月)
- ・ 一般国道42号すさみ串本道路の新規事業化(4月)
- ・ 一般国道371号(仮称)新紀見トンネルの新規事業化(4月)
- ・ 主要地方道 田辺印南線(上芳養工区)供用開始(5月)
- ・ 一般国道371号(橋本バイパス)暫定供用開始(6月)
- ・ 主要地方道 南紀白浜空港線の追加車線完成(7月)
- ・ 主要地方道 有田湯浅線(田～栖原工区)供用開始(7月)
- ・ 主要地方道 粉河加太線(加太工区)供用開始(7月)
- ・ 都市計画道路 西脇山口線(園部・六十谷工区(部分供用)、直川工区)供用開始(9月)
- ・ 一般県道 秋月海南線(和田工区)部分供用開始(10月)
- ・ 一般県道 三田三葛線(和田工区)供用開始(10月)
- ・ 一般国道169号(竹原拡幅)供用開始(11月)
- ・ 一般国道480号(花坂～大門拡幅 1工区)供用開始(12月)
- ・ 一般国道370号(小西工区)供用開始(12月)
- ・ 主要地方道 和歌山橋本線(西洪田～東洪田)供用開始(12月)

○高速道路整備推進のための活動等

- ・ 高速道路のミッシングリンクを解消し日本の再生を実現するため、高速道路の整備が遅れた11県知事が連携して提言活動(7月)
- ・ 近畿自動車道紀勢線建設促進協議会促進大会の開催、要望活動(10月)

○高速交通インフラ推進のための活動等

- ・ 大阪において関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会設立記念シンポジウムの開催(3月)
- ・ 徳島において開催されたシンポジウム「鉄道の将来」に知事が出席し、関空・紀淡・四国高速交通インフラの重要性をPR(6月)

2. 快適なくらしの実現

○交通機能の充実

- ・ JR箕島駅のバリアフリー化が完了(3月)

○南海本線和歌山大学前(ふじと台)駅へ特急サザンが停車(10月)

○勝浦港、宇久井港、新宮港の放置艇「0」達成(4月)

○和歌山下津港和歌山本港区内港地区(市堀川、築地川)の放置艇「0」達成(6月)

○切目川ダム堤体コンクリートの打設完了(4月)試験湛水開始(10月)

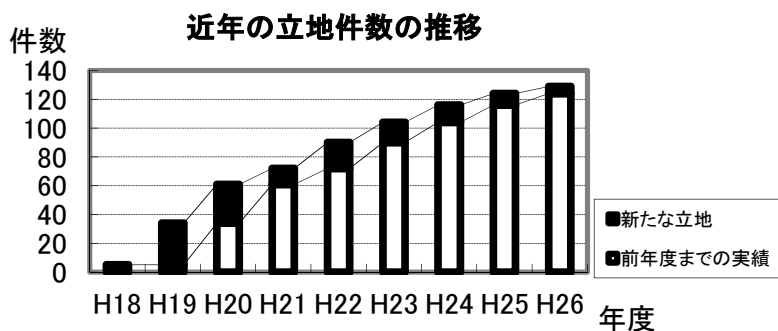
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所
1	アイコム(株)	紀の川市
2	(株)NTN	上富田町
3	(株)松源	和歌山市
4	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
5	アトラック(株)	橋本市
6	エアウォーター(株)	和歌山市
7	本州化学工業(株)	和歌山市
8	剤盛堂薬品(株)	和歌山市
9	恵和(株)	印南町
10	(株)タカショー	海南市
11	原田織物(株)	橋本市
12	(株)スミロン	日高川町
13	(株)オークワ	和歌山市
14	(株)ユアブレインズ	和歌山市
15	ビーウィズ(株)	和歌山市
16	恵和(株)	御坊市
17	大輪産業(株)	橋本市
18	(株)アルバック	橋本市
19	亀宝倉庫(株)	和歌山市
20	(株)NMソルト	和歌山市
21	南海化学(株)	和歌山市
22	ミナベ化工(株)	みなべ町
23	パナソニック(株)AIS社	紀の川市
24	辻岡運輸(株)	和歌山市
25	新日鐵住金(株)	和歌山市
26		和歌山市
27	和興建産(株)	和歌山市
28	太陽食品(株)	和歌山市
29	極東化成工業(株)	岩出市
30	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
31	関戸運輸(株)	和歌山市
32	アドバン工業(株)	和歌山市
33	(有)久保田エンジニア	紀の川市
34	(株)ホタニ	紀の川市
35	(株)エスアールアイ	海南市
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
37	東京製綱(株)	和歌山市
38	セイカ(株)	和歌山市
39	(株)マルテン天満屋	日高川町
40	(株)コズミックランド	白浜町

	企業名	立地場所
41	大阪富士工業(株)	和歌山市
42	笠野興産(株)	和歌山市
43	(有)コバタ総合研究所	橋本市
44	田辺金属工業(株)	田辺市
45	朝日オリコミ和歌山	和歌山市
46	(株)中井鉄工所	橋本市
47	(株)しんこう技研	紀の川市
48	旭精機(株)	橋本市
49	(株)NMソルト	和歌山市
50	木本産業(株)	有田市
51	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
52	太洋工業(株)	和歌山市
53	住友精密工業(株)	和歌山市
54	花王(株)	和歌山市
55	エアウォーター(株)	和歌山市
56	南海化学工業(株)	和歌山市
57	(株)三晃精密	橋本市
58	(株)ふみこ農園	有田市
59	(株)テクノ・アシスト	紀の川市
60	棒引製材	みなべ町
61	白光印刷	和歌山市
62	林化成(株)	橋本市
63	(株)見果てぬ夢	田辺市
64	大日本除虫菊(株)	海南市
65	共同印刷(株)	有田川町
66	花王(株) ※研究施設	和歌山市
67	紀和化学工業(株)	紀の川市
68	三菱電機(株)	和歌山市
69	日建産業(株)	御坊市
70	豊国金属工業(株)	橋本市
71	ミナベ化工(株)	みなべ町
72	(株)ニッコク	岩出市
73	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
74	(株)九重雑賀	紀の川市
75	(株)丸徳水産	和歌山市
76	ハグルマ(株)	紀の川市
77	藤本製薬(株)	御坊市
78	北広ケミカル(株)	橋本市
79	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市
80	日進化学(株)	橋本市

	企業名	立地場所
81	スターゼン西日本販売(株)	和歌山市
82	(有)日本鮪養殖	那智勝浦町
83	(株)串本マリンファーム	串本町
84	南紀串本水産(株)	串本町
85	東京製綱(株)	和歌山市
86	川口水産(株)	有田市
87	和歌山ガーデンクリエイト(株)	海南市
88	(株)ケー・ワイ・ビー	紀の川市
89	(株)イブバイオサイエンス	橋本市
90	中紀精機(株)	御坊市
91	(株)エス・ティー・ワールド	和歌山市
92	(株)赤井工作所	岩出市
93	(株)ユニカル	橋本市
94	クックスベスト(株)	那智勝浦町
95	(株)ゼネラルステッカー	田辺市
96	ナイス(株)	和歌山市
97	松林金属(株)	橋本市
98	(株)インテリックス	和歌山市
99	中部抵抗器(株)	紀の川市
100	富士香料化工(株)	橋本市
101	岡村製油(株)	橋本市
102	理工協産(株)	橋本市
103	(株)たにぐち	日高川町
104	川本化成(株)	和歌山市
105	(株)玉林園	和歌山市
106	(株)丸阪	橋本市

	企業名	立地場所
107	藤本食品(株)	岩出市
108	小川工業(株)	橋本市
109	北辰精工(株)	橋本市
110	(株)フューチュレック	海南市
111	(株)河鶴	みなべ町
112	橘電装工業(株)	和歌山市
113	(株)紀山	紀の川市
114	紀南パンジー(株)	上富田町
115	菱岡工業(株)	和歌山市
116	EH製菓(株)	田辺市
117	(株)エムジェイテック	橋本市
118	中辻産業(株)	橋本市
119	真和テック(株)	橋本市
120	ナカザワ建販(株)	紀の川市
121	東研サーモテック(株)	橋本市
122	(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング	和歌山市
123	(株)山登化学	橋本市
124	大和歯車製作(株)	日高川町
125	南海スチール(株)	和歌山市
126	(株)九重雑賀	紀の川市
127	(株)竹中商店	田辺市
128	(株)プリントテクニカ	橋本市
129	メディスト(株)	白浜町
130	(株)興栄ケミカル工業所	橋本市
131	(株)早和果樹園	有田市
132	(株)インテリックス	和歌山市



立地件数	132件
総投資額	3,610億円
雇用人数(見込)	1,811人(正社員数)